広島県感染症発生動向週報

〔広島県感染症予防研究調査会〕

平成28年第45週(11月7日~11月13日)【速報】

1 五類定点疾患週報情報

No.	疾患名	週 間 報告数	定点当たり	過去5年 平均※1	発生記号	No.	疾患名	週 間 報告数	定点当たり	過去5年 平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	72	0.63	0.15		11	ヘルパンギーナ	10	0.14	0.06	1
2	RSウイルス感染症	61	0.85	1.33	$\langle \rangle$	12	流行性耳下腺炎	45	0.63	0.68	
3	咽頭結膜熱	30	0.42	0.44		13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
4	A群溶血性レンサ球 菌咽頭炎	114	1.58	1.49		14	流行性角結膜炎	35	1.84	0.79	
5	感染性胃腸炎	1,459	20.26	5.46	K	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
6	水痘	38	0.53	1.01		16	無菌性髄膜炎	1	0.05	0.03	
7	手足口病	35	0.49	0.68		17	マイコプラズマ肺炎	7	0.33	0.27	1
8	伝染性紅斑	21	0.29	0.20	Š	18	クラミジア肺炎 ※3	0	0.00	0.01	
9	突発性発しん	22	0.31	0.52		19	感染性胃腸炎(ロタウ イルス) ※4	0	0.00	-	
10	百日咳	1	0.01	0.07		※1 過去5年間の同時期平均(定点当り)※2 鳥インフルエンザを除く。※3 オウム病を除く。※4 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年第42週から報告が始まりました。					

発生記号(前週と比較)

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1	1~12	13,14	15 ~ 19
定点数	43	72	19	21

无工心	ケーツに							
急増減	1	→	1:2 以上の増減					
増減	A		1:1.5 ~ 2 の増減					
微増減	$\langle \langle \rangle$	\Diamond	1:11~15の増減					
横ばい	横ばい		ほとんど増減なし					

11 4 4 4 4 4	警報	警報	注意報 開始 基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況 (定点当たり)						
対象疾患名	開始 基準	継続 基準			西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
流行性角結膜炎	8	4		警報発令 (H28.11.17 発令)	0.00	10.50	0.00	0.00	0.50	0.50	3.00
感染性胃腸炎	20	12		警報発令中 (H28.11.4 発令)	14.00	38.50	11.22	22.50	19.21	26.63	20.27

注)原則として、警報・注意報は県内いずれかの保健所管内で開始基準以上となった場合に発令し、すべての管内で継続基準未満となった場合に解除します。

●流行性角結膜炎の定点当たり報告患者数が西部東保健所管内で警報開始基準値(定点当たり8)を上回り 10.50となりました。流行性角結膜炎の流行が今後さらに拡大する可能性があることから、平成28年11月17日 県内に「流行性角結膜炎警報」を発令しました。

【急增減疾患(前週比2倍以上增減)】

●急増疾患 なし

●急減疾患 ヘルパンギーナ 20件 → 10件

マイコプラズマ肺炎 14件 → 7件

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

_ ~~		A - ABALAO - ABE-		<u> </u>						
類別	報告数	疾 患 名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
- 類	0	発生なし	0							
二 類	7	結核	7	2		2	1	1		1
三 類	0	発生なし	0							
四類	5	つつが虫病	4	1	1			1	1	
四 規	3	レジオネラ症	1			1				
五類全数	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/